

# 中津川市教職員の働き方改革

## 4月の始業式に向けて、ゆとりをもって準備します。

今年から春休みを1日長くします。これまでは、4月1日から新年度が始まり、会議や諸準備のため、教職員は土日の休日でも出勤しているのが常でした。春休みを1日延長し、準備の期間を確保し進めます。

## 昨年同様8月の3日間を、学校閉庁日とします。

夏季休業中の8月13日～15日までの3日間、学校は日直等を置かない閉庁日としました。今年も引き続き実施します。

## 毎週水曜日と、「8」の付く日は、定時退校日とします。

県や市などでも長時間勤務が問題視され、毎週水曜日と、「8」が付く日は定時退校日として、残業を行わず早く帰る日にしています。それに合わせて、学校でも残業を極力行わない定時退校を推奨していきます。

## 学校の電話対応は、終了時刻を定めるようにします。

教職員の長時間勤務の原因の一つが、保護者の方からの電話対応にあります。緊急な場合を除き、基本的には、休日の電話、平日午後7時以降の電話、長時間にわたる電話は控えていただくようご協力をお願いします。学校の職員には、午後7時までの退校を促します。

緊急な電話は、中津川市教育委員会学校教育課（66-1111）におかけください。また、相談ごとなどは、中津川市教育委員会の他、24時間対応の国・県の相談窓口などもご活用ください。

## 県下最大数の市費の指導助手、アシスタントを配置します。

中津川市では、指導助手、アシスタント、介助員、図書館司書、ALTなど、市費での職員を約120名配置しています。人数では岐阜市に次いで2番目ですが、子ども1人当たりになると、県下1です。教室の2番目の先生、3番目の先生を配置し、子どもたちへの指導を充実させ、教職員の負担を軽減します。